

全養協通信

平成19年5月29日 発行

全国社会福祉協議会 全国児童養護施設協議会

東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

〒100-8980 TEL03-3581-6503 FAX03-3581-6509

<http://www.zenyokyo.gr.jp>

「全養協通信」は、全養協事務局から全国の児童養護施設に直送しています。

全養協新会長に 中田 浩 氏 ～全養協 協議員総会 役員改選～

全国児童養護施設協議会は、去る5月11日に平成19年度第1回協議員総会を開催し、任期満了に伴う役員改選が行われました。役員選出にあたっては、平成18年度第2回協議員総会（平成19年3月19日開催）において承認された「全国児童養護施設協議会役員選出方法」にもとづき進められました。

会長選出にあたっては、各ブロックから選出された推薦委員による推薦委員会により、新会長に中田浩氏が協議員総会に推薦され、承認されました。その後、副会長、専門部長、常任協議員、監査役が選任されました（別表のとおり）。

また、専門部員については、総会において担当副会長及び専門部長の協議の上、会長に一任とされましたが、総会后、各ブロック長からの推薦をもとに、担当副会長及び専門部長が協議を行い、5月22日(火)に開催された「第3回常任協議員会」において協議し、現在最終調整を進めています。

さらに、中央推薦協議員(学識者)においては、同常任協議員会で5名が推薦されました。

<役員等一覧>

(敬称略)

役職名	都道府県	氏名	施設名
会長	大阪府	中田 浩	聖家族の家
副会長(総務部会担当)	東京都	土田 秀行	錦華学院
副会長(制度政策部会担当)	鳥取県	藤野 興一	鳥取こども学園
副会長(調査研究部会担当)	岡山県	高月 和紘	若松園
副会長(研修部会担当)	兵庫県	吉田 隆三	アメニティホーム広畑学園
北海道ブロック協議会会長	北海道	未定	
東北ブロック協議会会長	宮城県	菅原 昭	旭が丘学園
関東ブロック協議会会長	東京都	佐々木 晶堂	れんげ学園
中部ブロック協議会会長	石川県	側垣 二也	しお子どもの家
近畿ブロック協議会会長	大阪府	伊山 喜二	南河学園
中国ブロック協議会会長	岡山県	高月 和紘	若松園 (※再掲)
四国ブロック協議会会長	愛媛県	黒田 和幸	愛媛慈恵会
九州ブロック協議会会長	佐賀県	井上 定保	慈光園
制度政策部長	東京都	武藤 素明	二葉学園
総務部長	高知県	藤原 亨	南海少年寮
調査研究部長	広島県	上栗 哲男	広島新生学園
研修部長	愛知県	太田 一平	八楽児童寮

(次頁に続きます)

常任協議員	北海道	柏倉 正	函館国の子寮
同上	北海道	秦 直樹	興正学園
同上	青森県	山口 俊輔	幸樹園
同上	大分県	出納 皓雄	清浄園
中央推薦協議員		高橋 重宏	東洋大学
同上		高橋 利一	法政大学
同上		古川 孝順	東洋大学
同上		村井 美紀	東京国際大学
同上		品田 充儀	神戸市外国語大学
監査役(会員施設選出)	神奈川県	金子エスター聖美	幸保愛児園
同上(協議員選出)	長崎県	松本 厚生	大村子供の家

厚生労働省「今後目指すべき児童の社会的養護体制のあり方に関する構想検討会」(5月18日) 中間取りまとめ案(たたき台)が出される

■要保護児童の増加・ニーズの質の変化をふまえた検討が進められる

厚生労働省では、2月から標記検討会を設置して議論を進めてきましたが、5月18日に開催された第9回検討会で「中間とりまとめ(たたき台)」を提示しました。

厚生労働省では、平成15年に専門委員会を設置して検討を進めましたが、要保護児童の増加やニーズの質の変化など、その後3年間の状況の変化と議論の成果をふまえ、あらためて今回、子どもの社会的養護のあるべき姿、拡充に向けた具体策についてまとめることを目的に検討会を設置し、議論を進めたものです。なお、3月には本検討会からのヒアリングに際し、全養協が意見を述べています。

「中間とりまとめ(たたき台)」の内容は、5月10日の第8回検討会で示された「中間とりまとめ案(たたき台)」に対する議論をふまえ、その後修正した内容が盛り込まれたものです。

■家庭的養護の拡充、地域ネットワークの確立などを提起

「中間とりまとめ(たたき台)」の内容は、今後の社会的養護の基本的方向を現状の課題も含めて述べた上で、具体的施策として、①家庭的養護の拡充(里親制度の拡充、小規模グループケアの推進、施設におけるケア単位の小規模化)、②社会的養護に関する各主体の役割分担と地域ネットワークの確立、③施設機能の見直し、④年長児童の自立支援、⑤社会的養護を担う人材の確保とその質の向上、⑥科学的根拠に基づくケアの方法論の確立を提起しています。

■児童の権利擁護の強化・ケアの質の確保

また、児童の権利擁護の強化とケアの質の確保に向けた具体的施策として、①施設内虐待が発見された場合の通告、施設に対する調査・指導・監督の仕組みの創設等、再発防止に有効な仕組みの導入、②施設内虐待の事例検証、施設の支援体制の再構築のための方策の調査・研究、③第三者評価の義務付け、当事者である子どもが意見を表明する機会の担保等打ち出されています。

■政府「子どもと家族を応援する日本重点戦略会議」に反映させることを予定

現在政府では、内閣府に「子どもと家族を応援する日本重点戦略検討会議」が設置されて

おり、4分科会に分かれて議論が進められています。分科会の1つである「地域・家族の再生分科会」では、子どもの社会的養護についての議論が同時に進められています。

厚生労働省では、今回の「中間とりまとめ」を、当分科会のまとめに反映されるよう関係づけを行っています。

「中間とりまとめ(たたき台)」がホームページに掲載されています

福祉医療機構(WAMNET)ホームページ

<http://www.wam.go.jp/wamappl/bb16GS70.nsf/aCategoryList?OpenAgent&CT=60&MT=020&ST=150>

※ WAMNET トップページから「行政資料」→「福祉」→「児童・母子の福祉」→「今後目指すべき児童の社会的養護体制のあり方に関する構想検討会」とたどってご覧になれます。

■全養協の対応 ～「中間とりまとめ(たたき台)」の内容分析の上、予算要望を進める予定～

全養協では、今回の「中間とりまとめ(たたき台)」の内容を分析しつつ、厚生労働省に対し、平成20年度国家予算要望を行う予定です。

平成19年10月29日(月)～31日(水) 北海道・函館市で開催

「第61回全国児童養護施設長研究協議会」にご参加を

「第61回全国児童養護施設長研究協議会」は、平成19年10月29日(月)～31日(水)の3日間、北海道・函館市の「函館国際ホテル」を主会場に開催されます。ぜひ参加をご予定ください。

なお、開催要綱は7月中に各児童養護施設に直接お送りいたします。

「第61回全国児童養護施設長研究協議会」で顕彰を行います

永年勤続職員報告書の提出にご協力ください

本会では、児童養護施設に20年以上勤務する職員(施設長を除く職種)に対し、全国児童養護施設長研究協議会の場において、本会会長より感謝を表しております。本年度は、10月29日(月)～31日(水)に開催される「第61回全国児童養護施設長研究協議会」(北海道・函館市)の第1日目に、顕彰を行う予定です。

該当する職員がございましたら、今回同封した「永年勤続職員報告書の提出について」をご参照の上、7月2日(月)までに全養協事務局までご提出くださるようお願いいたします。

第30回を迎えた「松島賞」～児童養護施設職員のみなさんの実践研究を募集します～

「第30回児童養護施設職員研究奨励賞(松島賞)」実践研究募集

家庭・地域における子どもの養育機能の低下、児童虐待の急増などにより、児童養護施設の役割はますます重要性を増しています。

このような中、児童養護施設職員の実践を高めることを目的に、全養協では「第30回児童養護施設職員研究奨励賞(松島賞)」を同封の要綱により募集します。応募をお待ちしています。

今年も「全国児童養護施設長研究協議会」の会場を彩ります

「第 27 回児童文化奨励絵画展」作品募集

全養協では、児童養護施設の子どもたちの豊かな成長をねがい、日々の生活を子どもたちがいきいきと表現できるよう、創造的な文化活動を奨励する一環として、「児童文化奨励絵画展」を実施します。

今年も「全国児童養護施設長研究協議会」の会場を彩るとともに、優秀作品は季刊「児童養護」表紙等への掲載も予定しています。ぜひご応募ください。

平成 20 年 1 月 30 日(水)～2 月 1 日(金)の 3 日間開催

「児童養護施設中堅職員研修会」の開催日程決まる

児童養護施設中堅職員研修会を、標記のとおり平成 20 年 1 月 30 日(水)～2 月 1 日(金)の 3 日間にわたり開催することといたしました。会場は東京都内を予定しています。

なお、開催案内は今秋をめどにお送りする予定です。

全社協の動き

全社協新会長に 齋藤十郎氏 就任

全社協では、5 月 18 日に開催された第 152 回評議員会において役員改選を行い、平成 19～20 年度の新役員を選出しました。会長・副会長は次のとおりです。

齋藤十郎新会長は三重県出身、元厚生大臣、第 21・22 代参議院議長を務めています。また、前会長の長尾立子氏は、同評議員会において名誉会長に推挙されました。

役職名	所属・職名	氏名
会長	学識経験者	齋藤 十郎
副会長	学識経験者	末次 彬
副会長	愛知県社会福祉協議会 会長	鈴木 礼治
副会長	大阪府社会福祉協議会 会長	松廣屋 慎二
副会長	全国民生委員児童委員連合会 会長	大澤 義行
副会長	全国社会福祉施設経営者協議会 会長	高岡 國士

<今回お送りしている資料>

- (1) 全養協通信No.181(この資料です)
- (2) 「永年勤続職員報告書の提出について」(全社児発第 43 号)
- (3) 「第 30 回児童養護施設職員研究奨励賞(松島賞)」の募集について(全社児福発第 34 号②)
- (4) 「第 27 回児童文化奨励絵画展の作品の募集について(お願い)」(全社児発第 48 号③)